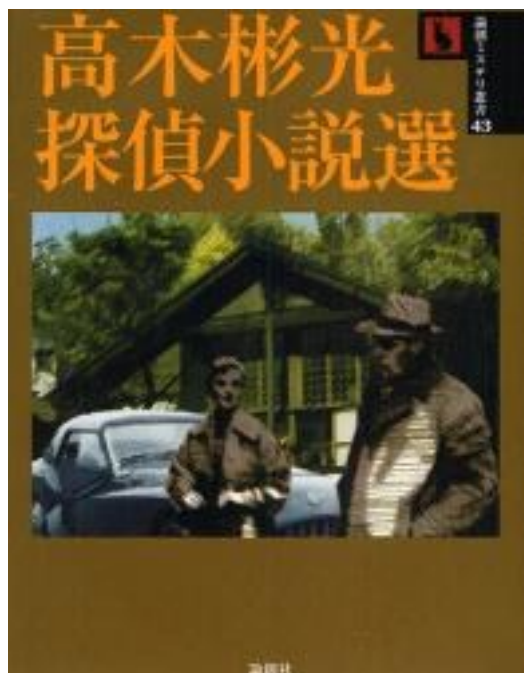


高木彬光探偵小説選



[高木彬光探偵小説選_下载链接1_](#)

著者:高木彬光 著

出版者:論創社

出版时间:2010年1月

装帧:单行本

isbn:9784846009106

[要旨]

幻の長編『黒魔王』初出版ほか単行本未収録作、ここに集成。探偵小説とは何ぞや、“本格の鬼”が語る貴重な論考10編併録。

[目次]

創作・読物篇（黒魔王；鉄道怪死事件；三十億金貨を引揚げる美女；戦後派殺人事件；黒い白鳥；時は裁く；吹雪の宿；自殺恐怖症；殺人の挽歌；死とのお見合い；闇の声；狂った拳銃；女の復讐；小栗上野介の秘密；風戸峠の秘宝；首斬り弁護士；戦艦

山城の亡霊）；評論・随筆篇（推理小説私見―大坪砂男氏にこたへて；第二の解答；推理小説とは何ぞや；トリック創造の秘密；わが道を往く；殺人動機について―白痴的犯罪；評の評；探偵小説とは何か；推理小説の将来；推理小説私観；集団、計画的犯罪）

作者介绍:

高木 彬光 (タカギ アキミツ)、1920（大9）年、青森県生まれ。本名・誠一。京都帝国大学工学部冶金科卒業後の43（昭18）年、中島飛行機に入社するが、終戦と同時に失職。48年、名探偵・神津恭介が登する『刺青殺人事件』が江戸川乱歩に認められてデビュー。第二長編『能面殺人事件』（50）で第3回探偵作家クラブ賞受賞。『成吉思汗の秘密』（58）以後、社会派推理小説の台頭に伴って作風の転換を図り、経済犯罪を扱った『人蟻』（60）『白昼の死角』（同）などを上梓。

横井 司 (ヨコイ ツカサ)、1962年、石川県金沢市に生まれる。大東文化大学文学部日本文学科卒業。専修大学大学院文学研究科博士後期課程修了。95年、戦前の探偵小説に関する論考で、博士（文学）学位取得。『小説宝石』で書評を担当。現在、専修大学人文科学研究所特別研究員。日本推理作家協会・日本近代文学会会員。

目录:

[高木彬光探偵小説選_ 下载链接1](#)

标签

高木彬光

日系推理（1950—1959）

日系推理

日本文学

日本

推理

侦探小说

评论

明显的杀意、大乌鸦传奇

大乌鸦传奇过来打个卡。在当时年代，无面尸应该是非常新意的了，环环设计让帮凶成为受害人，从而消除自己的痕迹。从犯罪经济学上来说，凶手要做一件事，必然有他的目的甚至好几个目的，让尸体难以辨认一般就是掩盖尸体真正身份或者杀人手法，用暴露来隐藏真正的问题。高木彬光很会玩啊

[高木彬光探偵小説選 下载链接1](#)

书评

[高木彬光探偵小説選 下载链接1](#)